

# 榎 順 医学博士

(1907, 1, 13 - 1969, 12, 17)

## I. 原 著

- 1) 榎 順：皮膚肉腫症のレ線—治験例. 日本医放会誌. 4:4, 1938
- 2) 榎 順：各種放射線の血清内無機塩類に及ぼすレ線の影響に関する実験的研究  
熊本医大. 15: ? 1939
- 3) 榎 順：悪性腫瘍の物質代謝に及ぼすレ線の影響に関する実験的研究 (第1編)  
熊本医大誌. 15(9): 1111, 1939
- 4) 榎 順：悪性腫瘍の物質代謝に及ぼすレ線の影響に関する実験的研究 (第2編)  
熊本医大誌. 15(9): 1207, 1939
- 5) 榎 順：脾臓及び肝臓機能異常の血清内K及びC a 含有量に及ぼす影響に就いて.  
熊本医大誌. 15(9): 1225, 1939
- 6) 榎 順：肺結核療法の適応決定に関するレントゲン学的考察.  
広島医学. II (8): 19, 1949
- 7) 榎 順：医師の職業的不具廃疾発生に関する経験並びにレ線災害予防に関する  
考按. 広島医学. III (4): 6, 1950
- 8) 榎 順：胆嚢十二指腸潰瘍兼十二指腸憩室の一例に就いて.  
広島医学. III(9): 26, 1950
- 9) 榎 順, 森 文雄：十二指腸憩室に就いて. 広島医学. III(9): 28, 1950
- 10) 榎 順：肺結核レントゲン診断挽回の趨勢と断層撮影に就いて.  
広島医学. III (11): 5, 1950
- 11) 榎 順, 川上 正幸：興味ある胃噴門部腫留の一例に就いて.  
広島医学. V (3-4): 42, 1952
- 12) 榎 順, 川上 正幸：空腸憩室の三例に就いて. 広島医学. V (5-6): 53, 1952
- 13) 榎 順：血行播種性結核の消長と微熱問題に関する私見. 広島医学. V(10): 5, 1952
- 14) 榎 順, 川上 正幸：興味ある十二指腸憩室の二例に就いて.  
広島医学. V (12): 27, 1952
- 15) 榎 順, 長崎 孝：胆道胆嚢十二指腸潰瘍に就いて. 広島医学. VI (1-2): 30, 1953
- 16) 榎 順, 川上 正幸：再び興味ある十二指腸憩室の二例に就いて.  
広島医学. VI (4-5): 32, 1953
- 17) 榎 順, 長崎 孝：胃憩室 (兼胃小湾潰瘍穿孔) の一例. 広島医学.  
VI (4-5): 34, 1953
- 18) 榎 順, 岩崎 旺太郎, 豊島 啓：胃前壁に発生した癌並びに潰瘍のレ線検査

- 手技並びに症例に就いて. 広島医学. VI (9): 20,1953
- 1 9) 榎殿 順, 豊島 啓, 岩崎 旺太郎: 回虫症のレ線学的考察.  
広島医学. VI(9): 24,1953
- 2 0) 榎殿 順, 今中 龍雄, 岩崎 旺太郎, 高梨 慎吾: 胃腸レントゲン検査  
1 3, 0 0 0 余例における消化管憩室について. 広島医学. VII (7): 27,1954
- 2 1) 榎殿 順, 今中 龍雄, 岩崎 旺太郎: 胃ポリープ並びに胃ポリープと誤診した  
興味ある症例について. 広島医学. VII (7): 29,1954
- 2 2) 榎殿 順, 豊島 啓, 高梨 慎吾: 7才の小児の巨大胃腫瘍の一症例に就いて.  
広島医学. VIII (9): 9,1955
- 2 3) 榎殿 順, 岩崎 旺太郎, 豊島 啓, 高梨 慎吾: 回虫のレントゲン診断法に  
就いて. 広島医学. VIII (10): 20,1955
- 2 4) 榎殿 順: 肺結核の発病進展に関するレ線学的考察. 広島医学. IX (9): 13,1956
- 2 5) 榎殿 順, 迫井 忠: 駆虫剤の革命と完全回虫駆除法の考按に就いて.  
広島医学. IX (10): 27,1956
- 2 6) 榎殿 順, 迫井 忠: リンゴ酸ピペラゼン (ベキシシ田辺) の人体内回虫の生態  
に及ぼす影響並びに駆虫の実態に就いて. 広島医学. IX (10): 27,1956
- 2 7) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 丸岩 巖: 胃腸レ線検査 2 4, 0 0 0 余例中に遭遇した  
十二指腸憩室 4 7 0 症例の総括的考察. 広島医学. IX (11-12): 17,1956
- 2 8) Makidono. J.: Observations on ascarids during fluoroscopy. Am J. trop med hyg.  
5(4): 699,1956
- 2 9) 榎殿 順: 肺結核レントゲン像の新読影法への基本的思索. 広島医学.  
X (5): 11,1957
- 3 0) 榎殿 順, 吉本 喜一郎: ツベルクリン反応の消長とレ線所見について.  
広島医学. X (5): 17,1957
- 3 1) 榎殿 順: 結核予防接種の理論的根拠に対する批判. 広島医学. X (6): 1,1957
- 3 2) 榎殿 順, 久留島 通尚: 症状好転せる肺結核のレ線学的考察.  
広島医学. X (7): 26,1957
- 3 3) 榎殿 順, 高梨 慎吾: 血 ? (小? 血) とレ線所見に就いて.  
広島医学. (8): 5,1957
- 3 4) 石田 正城, 榎殿 順: 乳幼児結核のレ線診断能に就いて. 広島医学. X (8): 16,1957
- 3 5) Makidono J.: Comments on the theoretical foundation of prophylactic inoculation  
against tuberculosis (theory contradicting the need of B.C.G.)  
Hiroshima J. med. sci.,? VI (1):85(1957)
- 3 6) Makidono J. :Roentgenographic consideration on the occurrence and progress of  
pulmonary tuberculosis.(the occurrence and progress of tuberculosis interpreted

- from the monistic point of view) Hiroshima J. med. sci.,? VI (1): 93(1957)
- 3 7) Makidono J.: Future of A-Bomb survivors from radiobiological view point.  
.Hiroshima J med.Sci., VI(1): 103(1957)
- 3 8) Makidono J.: Ecological observation of ascarids with anthelmintic treatment  
under fluoroscopy. Hiroshima J.med.Sci. VI (2): 161(1957)
- 3 9) Makidono J., Takanashi S., Yoshimoto T.: Acid-fast bacilli in the blood.  
Hiroshima J.med.Sci., VI (2): 177(1957)
- 4 0) 榎 順 : カイニン酸並びにその関連化合物の人体内回虫の生態に及ぼす影響  
並びに駆虫の実態に就いて. 寄生虫学雑誌. VI (1): 11,1957
- 4 1) 榎 順 : ピペラジン (ピペニン錠) の人体内回虫の生態に及ぼす影響並びに  
駆虫の実態に就いて. 寄生虫学雑誌. VI (1): 67,1957
- 4 2) 榎 順 : 合成サントニンの人体内回虫の生態に及ぼす影響並びに駆虫に就いて  
寄生虫学雑誌. VI (2): 30,1957
- 4 3) 榎 順 : 初感染発病論の欠陥に就いて. 日本医雑誌. 37: 4,1957
- 4 4) 榎 順 : 肺結核のレ線像読影における基本的概念に就いて.  
広島医学. XI (2-3): 1,1958
- 4 5) 榎 順 : 肺結核の発病進展における「ランケ」学説の知見補遺.  
広島医学. XI (2-3): 13,958
- 4 6) 榎 順, 吉本 功 : 初感染発病学説を支持する根拠は正しいか.  
広島医学. XI (5): 40,1958
- 4 7) 榎 順, 高梨 慎吾 : 結核発病における菌血の意義について.  
広島医学. XI (5): 46,1958
- 4 8) 榎 順, 高梨 慎吾 : Chondria Aromata (ハナヤナギ) 並びにその有効成分  
domoic Acid (ドウモイ酸) の人体内回虫の生態に及ぼす影響並びに駆虫効果に  
ついて. 広島医学. Xii (1): 150,1958
- 4 9) 榎 順, 吉本 功, 藤原 悟 : 過去 1 5 カ年間に於ける胃腸レ線検査  
3 5, 9 1 7 例中に遭遇した十二指腸憩室 7 1 8 例中 7 7 3 個の集計に就いて.  
広島医学. XII (6): 70,1959
- 5 0) 榎 順 : 結核臨床研究の発展. 結核研究. ? 1959
- 5 1) 榎 順 : 癌の術前照射法. 日本医放会誌. 21: 5,1961
- 5 2) 榎 順 : 癌の術前術後照射法に関する研究—第一報 照射術式の考按について.  
広島医学. XIV (5): 512,1961
- 5 3) 榎 順 : 癌の術前術後照射法に関する研究—第二報 近接照射法 (体腔管) に  
よる胃癌の術前術後照射について. 広島医学. XIV (5): 524,1961
- 5 4) 榎 順 : 癌の術前術後照射法に関する研究—第三報 術前照射第二術式に関する  
検討. 広島医学. XIV (5): 535,1961

- 5 5) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究—第四報 癌組織の治療的移植による癌の治療法について（特にその理論的根拠と術式の解説）.  
広島医学. XI (5): 541,1961
- 5 6) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究—第五報 熱処理による癌組織の治療的移植法に関する予報. 広島医学. XIV (5): 545,1961
- 5 7) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究—第六報 癌の放射線療法に於ける挽近の趨勢に対する批判. 広島医学. XIV (5): 552,1961
- 5 8) 榎殿 順, 高梨 慎吾：癌の術前術後照射法に関する研究—第八報 術前術後照射による血清内残余窒素量の消長について. 広島医学. XIV (11-12): 1229,1961
- 5 9) 榎殿 順, 吉本 功：癌の術前術後照射法に関する研究—第九報 吾々の照射条件における深部並びに側方線量について. 広島医学. XIV (11-12): 1242,1961
- 6 0) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究—第十報 術前術後照射を受けた胃癌の病理組織学的検査成績に関する考按. 広島医学. XIV (11-12): 1246,1961
- 6 1) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究—第十一報 摘出癌組織を治療的に移植した個体に於ける経過並びに移植組織の運命について.  
広島医学. XIV (11-12): 1252,1961
- 6 2) 榎殿 順, 吉本 喜一郎：癌の術前術後照射法に関する研究—第十二報 Co-60  $\gamma$ 線の深部線量分布と之が適用に関する考按. 広島医学. XIV (11-12): 1256,1961
- 6 3) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 吉本 喜一郎, 吉本 功：癌の術前術後照射法に関する研究—第十三報 我々は癌の治療計画を如何に立てたか.  
広島医学. XV (1): 7-22,1962
- 6 4) 榎殿 順：昭和36年度広島医学会賞受賞, 受賞者講演—癌の術前術後照射法に関する研究. 広島医学. XV (7): 526,1962
- 6 5) 榎殿 順：癌の術前放射について（癌の手術には術前放射を行いましょう）.  
広島医学. XV (1): 23,1962
- 6 6) 榎殿 順：「生ワク」が結核菌を笑う. 広島医学. XV (5): 404,1962
- 6 7) 榎殿 順：癌の免疫とその臨床的応用に関する研究—第一編 癌免疫に関する臨床的経験とその応用について. 広島医学. XV (8): 691,1962
- 6 8) 榎殿 順, 高梨 慎吾：癌の免疫とその臨床的応用に関する研究—第二編 癌の免疫とその臨床的応用に関する研究（study on the cancer immunity and its clinical application）. 広島医学. XV (10): 1092,1962
- 6 9) 榎殿 順：癌の術前照射並びに摘出癌組織の治療的移植の抗癌抗体価に及ぼす影響（第一報）. 日本医放会誌. 22(8): 897,1962
- 7 0) 榎殿 順：癌の放射線療法から免疫療法へ（癌細胞は如何にして崩壊してゆくか）  
広島医学. 16(2-3): 124,1962
- 7 1) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 吉本 功, 他：原爆被爆者（残留放射能によるものを含む

- む) の血清蛋白に就いて. 第一報 紙電気泳動法による泳動「パターン」を中心に  
して. 広島医学. 16(9): 799,1963
- 7 2) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 吉本 功, 他: 原爆被爆者(残留放射能によるものを含  
む) の血清蛋白に就いて. 第二報 紙電気泳動法による血清蛋白分層の量的観察並  
びに泳動パターンの生理的臨床的意義の解明に向かって.  
広島医学. 16(10): 885,1963
- 7 3) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 他: 放射線照射の生物学的作用機構に関する実験的研究  
広島医学. 16(11-12): 1040,1963
- 7 4) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 他: 千葉大学の癌に対する新しい術前放射方式を批判す  
る. 広島医学. 16(11-12): 1047,1963
- 7 5) 榎殿 順, 他: 癌の放射線並びに免疫療法に関する研究—吾々は如何に癌の治療  
計画を立てたか. 日本医放会誌. 22(10): 1063,1963
- 7 6) 榎殿 順: 癌の術前照射並びに摘出癌組織の治療的移植の抗癌抗体価に及ぼす  
影響(第II報). 日本医放会誌. 23:5.574.1963
- 7 7) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 他: 原爆被爆者(残留放射線によるものを含む) の血清  
蛋白について. 第三報 紙電気泳動法による血清蛋白分層の量的観察並びに泳動パ  
ターンの生理的意義の解明に向かって. 日本医放会誌. 17(7): 751,1964
- 7 8) 榎殿 順, 高梨 慎吾, 他: 放射線生物学的作用機構解明に関する一考察.  
広島医学. 17(7): 758,1964
- 7 9) 榎殿 順: 新しい治療法を行った胃癌(消化器癌を含む) の治療経験.  
日本医放会誌. 24(11): 1214,1965
- 8 0) 榎殿 順: 消化器レントゲン診断法に関する経験. 広島医学. 17(11-12): 1181,1965
- 8 1) 榎殿 順, 山崎 正雄, 他: 放射線治療を受けた担癌固体の癌免疫とその臨床的  
応用に関する経験. 広島医学. 17(11-12): 1200,1965
- 8 2) Makidono J.: Cancer immunity of irradiated tumor-bearing individuals and its  
clinical applications. Hiroshima J.med.sci.,18(9):813, 1966.
- 8 3) 榎殿 順, 他: 癌の能動並びに受動免疫療法に就いて.  
広島医学. 18(11-12): 1028,1966
- 8 4) 榎殿 順: レントゲン・アーベント100回記念 この道有余年.  
広島医学. 11(12): 1195,1966
- 8 5) 榎殿 順, 他: 放射線生物学的作用機構に関する実験研究.  
日本医放会誌. 25(11): 1308,1966
- 8 6) 榎殿 順: 癌の放射線療法から免疫療法へ(癌細胞は如何にして崩壊してゆくか)  
広島医学. 19(2-3): 124,1967
- 8 7) 榎殿 順, 他: 消化器癌の免疫療法に関する考案—第一報  
広島医学. 20(4): 351,1968

- 88) 榎殿 順, 他: 消化器癌の免疫療法に関する考案—第二報  
広島医学. 20 (5): 470,1968
- 89) 榎殿 順, 他: 癌の受動免疫療法に関する研究. 広島医学. 20 (7): 720,1968
- 

## I' 臨床医学放射線学研究所関連原著

- 1) 川上 正幸: 若年者胃潰瘍の一例に就いて. 広島医学. V (12): 30,1952
- 2) 長崎 孝: 胃ポリープの一例に就いて. 広島医学. V(12): 31,1952
- 3) 長崎 孝: 食道癌と誤診したる食道異物の一例. 広島医学. V(12): 33,1952
- 4) 川上 正幸: 9才の女兒に於ける十二指腸結核の一例に就いて. 広島医学.  
VI (1-2): 34,1953
- 5) 川上 正幸: 土耳其鞍レントゲン撮影の一新法に就いて. 広島医学. VI:1-2,36,1953
- 6) 長崎 孝: 総腸間膜症に就いて. 広島医学. VI:4-5,40,1953
- 7) 今中 龍雄: 興味ある胃ポリープ二例について. 広島医学. VII:7,33,1954
- 8) 今中 龍雄: 回虫胆道迷入に就いて. 広島医学. VII:7,37,1954
- 9) 今中 龍雄: 胃癌と誤診したる肝硬変の一例に就いて. 広島医学. VII:7,40,1954
- 10) 岩崎旺太郎: 駆虫薬の作用機序に関する研究. 広島医学. VII:10,35,1954
- 11) 高梨 慎吾: 回虫の胆道迷入による急性 炎の一例に就いて. 広島医学.  
VIII:9,15,1955
- 12) 豊島 啓: 総腸間膜症の一例について. 広島医学. VIII:10,31,1955
- 13) 高田 潔: レ線深部治療の著効を呈した縦隔膜トク腫の一例に就いて.  
広島医学. IX:1,23,1956
- 14) 高田 潔: 巨大なる胃パピロームの一例. 広島医学. IX:1,25,1956
- 15) 太田 俊彦: 術後急性肺虚脱の一例. 広島医学. IX:9,74,1956
- 16) 今中 龍雄, 長谷川 高雄: 先天性堯骨欠損症の一例. 広島医学. IX:10,32,1956
- 17) 岩崎旺太郎, 丸岩 巖: 胃内回虫の駆除について. 広島医学. IX:11-12,28,1956
- 18) 石田 正城: 十二指腸球部憩室の一例に就いて (癌を含む) の治療経験. 広島医学  
放射線学. IX:11-12,30,1956
- 19) 石田 正城: 直腸に適用したるサントニンの駆虫作用に就いて. 広島医学.  
IX:11-12,32,1956
- 20) 高田 潔: 超鶏卵大の十二指腸憩室の一例に就いて. 広島医学.  
IX:11-12,39,1956
- 21) 高田 潔: 空腸憩室九例の総括的考察. 広島医学. IX:11-12,41,1956

- 2 2) 迫井 忠：多発性十二指腸憩室の一例。広島医学。IX:11-12,45,1956
- 2 3) 一ノ瀬 真平, 久留島 通尚：胃癌の一例。広島医学。IX:11-12,49,1956
- 2 4) 久留島通尚：興味ある巨大十二指腸憩室の一例に就いて。広島医学。  
IX:11-12,49,1956
- 2 5) 迫井 忠：空腸結腸ポリポージスの一例に就いて。広島医学。X:1,41,1957
- 2 6) 佐藤 幸治：耳鼻科領域における「レ」線簡易近接拡大撮影法に就いて。  
広島医学。X:1,44,1957
- 2 7) 丸岩 巖：ピペラジンの回虫に及ぼす影響に関する実験的研究。広島医学。  
X:1,60,1957
- 2 8) 太田 俊彦：十二指腸憩室の五例について。広島医学。X:4,28,1957
- 2 9) 佐藤 幸治：特発性食道拡張症の経験。広島医学。X:7,31,1957
- 3 0) 佐藤 幸治：耳鼻科領域に於ける高圧撮影の経験。広島医学。X:7,48,1957
- 3 1) 吉本 功：集団検診の集計より観たるレ線所見とツ反応の関係について。  
広島医学。X:8,45,1957
- 3 2) 迫井 忠：乳幼児土耳其鞍のレ線学的観察。広島医学。X:9,13,1957
- 3 3) 太田 俊彦：メッケル氏憩室を伴える腸重積症に起因する特発性腸管破裂の一治療  
例について乳幼児土耳其鞍のレ線学的観察。広島医学。XI:1,33,1958
- 3 4) 太田 俊彦, 島 薫：出血性胃疾患と間違えたる胆嚢内ポリープの突発性破裂の一  
例に就いて。広島医学。XI:2-3,16,1958
- 3 5) 太田 俊彦, 久留島 通尚：鎖 に起因して発生せる巨大結腸症の一例について。  
広島医学。XI:2-3,19,1958
- 3 6) 太田 俊彦, 久留島 通尚, 花木 美智恵：術前に診断し得たる胃ポリープの 5 例  
に就いて。広島医学。XI:5,29,1958
- 3 7) 高田 洋：クローン氏病の一例とレ線像について。広島医学。XII:6,18,1959
- 3 8) 藤原 悟, 吉本 功：十二指腸憩室症例追加 1 3 7 例の統計的考察。広島医学。  
XII:6,55,1959
- 3 9) 熊沢 一郎：再生不良性貧血の一例。広島医学。XII:6,61,1959
- 4 0) 松野 基：肺結核のレ線照射治療に関する経験。広島医学。XII:7,70,1959
- 4 1) 藤原 悟：胃内回虫の生態と苦情について。広島医学。XII:6,76,1959
- 4 2) 高田 洋, 原田 東民：ハン痕性幽門狭窄と誤診したる輪状 の一例について。  
広島医学。XII:7,24,1959
- 4 3) 丸岩 巖：ツベルクリン反応とケトステロイドの消長について。  
広島医学。XII:7,27,1959
- 4 4) 吉本 功：O d d i 氏筋閉鎖不全症の二例について。広島医学。XII:7,34,1959
- 4 5) 高田 洋, 阪田 泰正：空洞瞳孔療法施行中の偶発症四例。広島医学。  
XII:7,37,1959

- 46) 丸岩 巖：胃憩室の二例に就いて。広島医学。XII:7,42,1959
- 47) 松野 基, 高梨 慎吾：深部レ線照射の血液に及ぼす影響について。  
広島医学。XII:8,25,1959
- 48) 高田 洋, 丸岩 巖, 松野 基：最近5ヵ年間に遭遇した胃ポリープの集計について。広島医学。XII:8,36,1959
- 49) 高田 洋, 他：腎臓結核に併発せる腎臓結石の一例。広島医学。XII:8,42,1959
- 50) 丸岩 巖, 高田 洋：肺結核に於ける副腎皮質ホルモンのしよう経験。  
広島医学。XII:8,44,1959
- 51) 高梨 慎吾, 吉本 功, 藤原 悟：流血中の抗酸菌に関する研究。第1報 肺結核患者並びに胸部レ線像に新旧種々の陰影を遺す個体に於ける流血中の抗酸菌について。広島医学。XII:10,20,1959
- 52) 太田 俊彦, 吉本 功, 高梨 慎吾：流血中の抗酸菌に関する研究。第2報 N小学校に於けるツ反応自然陽転学童167名の流血中の抗酸菌について。広島医学。  
XII:10,30,1959
- 53) 石田 正城, 松野 基, 高梨 慎吾：流血中の抗酸菌に関する研究。第3報 D小学校に於けるB・C・G陽転学童167名の流血中の抗酸菌について。広島医学。  
XII:10,36,1959
- 54) 高梨 慎吾, 吉本 功, 森 文雄：流血中の抗酸菌に関する研究。第4報 肺結核患者並びに旧病巣等の痕跡を有する固体の流血中の抗酸菌について。広島医学。  
XII:10,39,1959
- 55) 吉本 功, 高田 修：流血中の抗酸菌に関する研究。第5報 肺結核患者の流血中の抗酸菌について。広島医学。XII:10,49,1959
- 56) 太田 俊彦, 森 文雄：流血中の抗酸菌に関する研究。第6報 N小学校学童の流血中の抗酸菌について。広島医学。XII:10,49,1959
- 57) 森 文雄：脊髄「カリエス」と誤診されたる椎間軟骨「ヘルニア」の一例。広島医学。XIII:1,48,1960
- 58) 森 文雄：胃憩室の一例。広島医学。XIII:1,51,1960
- 59) 高梨 慎吾, 熊沢 一郎：流血中の抗酸菌に関する研究。第7報 B・C・G接種後の人体流血中の抗酸菌の消長について。広島医学。XIII:2-3,56,1960
- 60) 吉本 功, 熊沢 一郎：流血中の抗酸菌に関する研究。第8報 広島市内学童の集団検診によって発見されたレ線写真上有所見学童の流血中の抗酸菌について。広島医学。XIII:2-3,60,1960
- 61) 熊沢 一郎, 石田 正城：流血中の抗酸菌に関する研究。第9報 広島市D小学校学童の流血中抗酸菌について。広島医学。XIII:2-3,62,1960
- 62) 熊沢 一郎, 高田 修：流血中の抗酸菌に関する研究。第10報 流血中抗酸菌検

- 出者の第2次検出に関する研究. 広島医学. XIII:2-3,65,1960
- 6 3) 高田 修: 流血中の抗酸菌に関する研究. 第11報 レ線有所見学童並びに同時培養による抗酸菌の研究. 広島医学. XIII:2-3,67,1960
- 6 4) 高田 修, 高梨 慎吾: 総腸間膜の一例に就いて. 広島医学. XIII:2-3,69,1960
- 6 5) 高梨 慎吾: ツベルクリン負荷の白血球数動揺に及ぼす影響について. 第1編 健康者にツベルクリンを負荷した場合における白血球数の動揺. 広島医学. XIII:4,39,1960
- 6 6) 高梨 慎吾: ツベルクリン負荷の白血球数動揺に及ぼす影響について. 第2編 肺結核症例にツベルクリンを負荷した場合における白血球数の動揺. 広島医学. XIII:4,65,1960
- 6 7) 吉本 功: 昭和38年より昭和42年に至る過去5年間に於ける榎殿放射線科の診療実態とその症例の統計的観察に就いて. 広島医学. 21:11,1094,1968
- 

## II 総 説

- 1) 榎殿 順: 肺結核レントゲン診断挽回の趨勢と断層撮影に就いて. 広島医学. III:11,5,1950
- 2) 榎殿 順: 肺結核の「治」について. 広島医学. XII:5,7,1959
- 3) 榎殿 順: 癌の放射線治療に於ける挽回の趨勢に就いて. 広島医学. XIV:2-3,278,196
- 4) 榎殿 順: 癌の術前術後照射法に関する研究. 第一報 照射術式の考按について. 広島医学. XIV:5,512,1961
- 5) 榎殿 順: 癌の術前術後照射法に関する研究. 第二報 近接照射法(体腔管)による胃癌の術前術後照射について. 広島医学. XIV:5,524,1961
- 6) 榎殿 順: 癌の術前術後照射法に関する研究. 第三報 術前照射第二術式に関する検討. 広島医学. XIV:5,535,1961
- 7) 榎殿 順: 癌の術前術後照射法に関する研究. 第四報 癌組織の治療的移植による癌の治療法について.(特にその理論的根拠と術式の解説). 広島医学. XIV:5,541,1961
- 8) 榎殿 順: 癌の術前術後照射法に関する研究. 第五報 熱処理による癌組織の治療的移植法に関する予報. 広島医学. XIV:5,545,1961

- 9) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究. 第六報 癌の放射線療法に於ける  
挽回の趨勢に対する批判. 広島医学. XIV:5,547,1961
- 10) 榎殿 順, 高梨 慎吾：癌の術前術後照射法に関する研究. 第八報 術前術後照  
射による血清内残余窒素量の消長について. 広島医学. XIV:11-12,1229,1961
- 11) 榎殿 順, 吉本 功：癌の術前術後照射法に関する研究. 第九報 吾々の照射条  
件における深部並びに側方線量について. 広島医学. XIV:11-12,1242,1961
- 12) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究. 第十報 術前術後照射を受けた胃  
癌の病理組織学的検査成績に関する考按. 広島医学. XIV:11-12,1246,1961
- 13) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究. 第十一報 敵出癌組織を治療的に  
移植した個体に於ける経過並びに移植組織の運命について. 広島医学.  
XIV:11-12,1252,1961
- 14) 榎殿 順：癌の術前術後照射法に関する研究. 第十二報 60C o r 線の深部線量  
分布と之が適用に関する考按. 広島医学. XIV:11-12,1256,1961

---

### III 著 書

- 1, 榎殿 順：肺結核のレントゲン像読影に関する基本的考察  
日本放射線新報社, 1953
- 2, 榎殿 順：肺結核の発病進展に関するレ線学的考察  
日本放射線新報社, 1954
- 3, 榎殿 順：回虫駆除の理論と実際  
Every Doctor's Library 178 医学書院, 1955
- 4, 榎殿 順：吾等の歩みを集計して  
臨床医学放射線学研究所編  
文化印刷株式会社, 1960
- 5, 榎殿 順：新しい知見による肺結核のレントゲン像読影の実際  
臨床医学放射線学研究所, 1960
- 6, 榎殿 順 高梨慎吾 吉本 功：消化器病レントゲン診断の実際。  
一胃腸レ線検査 45,000 例の経験から一  
臨床医学放射線学研究所, 1960